

### 石の鞍

石倉稲荷神社の入り口の西側にあり、播磨の名所として昔から知られています。村の人がこれを神さまとして大事にまつた時代がありました。「播磨鑑」という本に、岩鞍の社という題で「神の世の岩くらなれば今の世のぬかつき絶えぬ里の諸人」という古い歌が書かれています。

行った日



### 太市たけのご祭り

4月の中ごろ、桜山公園で「たけのご祭り」が開かれます。朝に掘ったアクの少ないたけのこを買いに遠くからも多くの人々がやって来ます。生のたけのこやたけのこご飯、たけのこの天ぷらなどが販売されます。水煮のたけのこの丸かじりなどもあります。

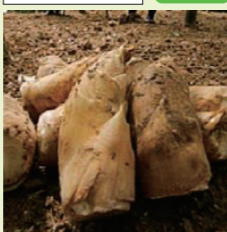
行った日



### 太市の筍

「姿は京都の山城、味は姫路の太市…」といわれるほど、味は日本一の自慢のたけのこです。鉄分がたっぷりある粘土層の赤土が甘くて柔らかなたけのこをつくります。明治時代の初めごろから出荷していて、今では年間300トン近く出荷しています。

行った日



### 邑智(大市)駅家

『延喜式』(平安時代の法令集)によると播磨国の首の山陽道沿いには七つの駅があり、その一つが邑智(大市)駅家でした。駅家では馬を飼っていて、馬の乗りつきなどに利用されたほか役人が宿に泊まりました。向山の古い瓦が見つかった土地が邑智駅家の跡と思われ、「馬屋田」という字名が残っています。

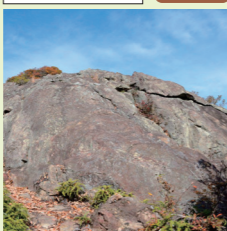
行った日



### 亀岩の伝説

岩の形が亀のこうらに似ていることから名づけられました。亀岩のくぼみには、一年中かれることなく水がたまっているといわれています。崇神天皇の時代に、この岩に香りがする稲が4本生えたことがあり、天皇の命令で、稲の種が全国に広まったといわれています。

行った日



邑智(大市)駅家の他にも、播磨の昔の山陽道沿いには駅家が置かれていました。他にどんな駅家があったのか調べてみましょう。



## 24 太市地区



調べたこと、  
分かったことを  
書いてみよう!



- 遺跡・史跡 歴史上の名所
- 神社・仏閣 歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り 伝統行事
- 美術品
- 伝説・史跡 伝説・史跡 など
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- その他

### 筍組合

太市には約530ヘクタールの竹やぶがあります。3月の終わりごろから5月の中ごろまでに、竹やぶを持っている組合員約300軒が、朝に掘ったたけのこを組合を通してお店で販売したり、市場に出荷したりします。水煮のたけのこは缶詰にしています。

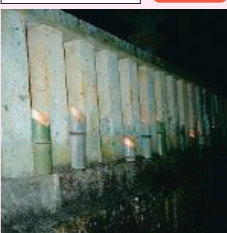
行った日



### 破磐神社 千燈祭

7月31日の千燈祭は、稲が豊かに実ること、夏の暑さに負けることなく人々が健康にすごすことができるよう祈りしたのが始まりです。昔は、貴重だった菜種油を土の器に入れ、ろうそくの芯に火をつけてお供えました。

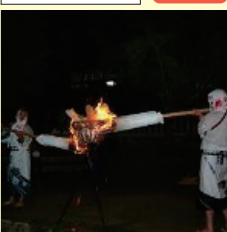
行った日



### 破磐神社 奉点燈祭

羽柴秀吉のいうことを聞かなかった峯相山鶏足寺が焼かれ、その時に焼死したお坊さんや村人を供養するために8月15日に行われたのが始まりです。松明に神社の火を移し、歌いながらねり歩き、「エント!エント!」のかけ声にあわせて松明で力強くたたかいます。

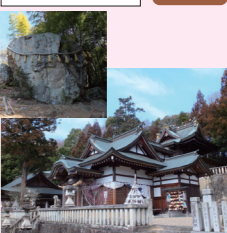
行った日



### 破磐神社と割れ岩

神功皇后・仲哀天皇・応神天皇がまつられています。大昔、神功皇后が戦の勝利を願って麻生山から放った3本の矢のうちの1本が、太市郷西脇村の大きな岩にさきって、岩が三つに割れたとされています。これが良いできごとの始まりと考えられ、その矢がまつられたと伝えられています。

行った日



### 峯相山鶏足寺

峰相山の山の上、南西の斜面に何段かの平らな場所があり、そこが鶏足寺の跡と考えられます。鶏足寺は神功皇后が連れて帰った新羅の王子がつくったといわれています。天正6年(1578)、羽柴秀吉に抵抗したためにすべて焼かれてしまいました。その後、建て直されることなく、お寺はなくなってしまいました。

行った日

